

2004年10月13日
三菱ふそうトラック・バス株式会社
広報部

三菱ふそう 47案件の対応進捗状況報告

三菱ふそうが市場措置を予定している47案件の進捗状況等につき、下記の通りご報告申し上げます。

はじめに、大型バス非常口座席のリコールにつきましては、一連の事故発生によりお怪我をされた方々に心からお見舞い申し上げますと共に、バス事業者・乗客の方々をはじめとする、社会の皆様にご迷惑をお掛けしたことについて重ねてお詫び申し上げます。

当社では再発防止に向け、リコール作業実施に全力を尽くし、道路交通の安全確保に努めます。次に、47案件のうち、市場措置が終わっていない8件についてでございますが、10月末までに届出を予定しており鋭意とり進めております。

記

1. 特記事項

(1) 大型バス「急ブレーキ時の非常扉シート倒れリコール」関連最新情報

- ・ [資料5]をご参照下さい
- ・ 本件リコールについて、商品情報連絡書および、10月2日から5日にかけて実施した販売会社からの情報の精査の結果、合計で20件の不具合事例があり、内15件の本リコールに伴う人身事故が発生しております。
- ・ 現在2,847台(約10%)のリコール作業(ストッパーの掛かり代点検と装着)が完了しており、11月末までの作業完了を目標に全力を挙げ取り組めます。

(2) 過去の品質問題に係わる拡大調査について

10月6日の社長会見でマスコミの方々からご質問のありました「品質問題に係わる拡大調査」につきましては、社内での再検討を行いながら、現在、拡大調査を実施する方向で進めております。その方法、調査対象、スケジュールなど具体的な詳細内容につきましては、決まり次第速やかにご報告させていただきます。

2. 今週の定例報告事項

(1) 47案件の現在までのリコール等届出状況

- ・ [資料1]をご参照下さい。()は前回の会見の数字

	～10月12日	10月13日	～10月下旬	合計
リコール	34 (34)	4 (4)	7 (7)	45 (45)
改善対策	1 (1)	0 (0)	1 (1)	2 (2)

- ・ 本日、以下4件のリコール届出を済ませ、47案件累計で39件のリコール・改善対策の届出を完了いたしました。

<47 案件> (括弧内は届出番号)

- No.24(1265) プロペラシャフト脱落
- No.25(1262) チェーントランスファーオイル洩れ
- No.38(1266) アクスルシャフト破損
- No.43(1261) T-ドライブシステム脱落

<47 案件以外> (括弧内は届出番号)

機械式自動変速機 制御不具合 (1268)

本日の届出案件対象台数(生産台数^ハ-ス)

	24	25	38	43	47 項目	新規	10/13 日
リコール届出番号	1265	1262	1266	1261	小計	1268	届出合計
大型トラック	2,821		3,035		5,856	3,664	9,520
中型トラック					0	53	53
小型トラック					0		0
大型バス					0	7	7
中型バス		2,094		3,797	5,891		5,891
小型バス					0		0
計	2,821	2,094	3,035	3,797	11,747	3,724	15,471

注:機種ごとの合計数はラップ車両台数を考慮しておりません。(単純加算)

(2) 今後2週間以内に届出が完了する項目

- ・ [資料2] をご参照下さい。
- ・ 今回新たに下記1件の案件を追加しました。

<47 案件>

12: T/M ニードルベアリング不具合

(3) 届出済み市場措置の状況(10月9日現在)

- ・ [資料3] をご参照下さい。
- ・ 大型トラック・バスのフロントハブ不具合対策は、恒久対策実施率が**55.4%** 暫定対策が**19.5%**となりました。尚、全体の実施率は、**74.9%**となりました。
- ・ 大型トラックのクラッチハウジング不具合暫定対策は、10月2日現在**95.7%**。
- ・ 緊急点検台数は前回比約0.8万台増の約23.8万台、無料点検台数は同約1.2万台増の約34.3万台になりました。

(4) 6/14以降の事故案件について

- ・ [資料4] をご参照下さい。
- ・ 10月6日に発生しました大阪市交通局の非常口座席の事故に関して10月7日にスクランブル調査を実施致しました。

以上

対策実施予定の47案件一覧

資料1
2004.10.13

リコーラー一覧

三菱ふそうトラック・バス株式会社
 1:U-#届出済以外の案件については、6/30日記者会見で公表した機種ですが今後変更もありません。
 2:U-#届出済以外の案件については、6/30日記者会見で公表した生産期間ですが今後変更もありません。
 3:U-#届出済以外の案件については、6/14日記者会見で公表した件数ですが今後変更もありません。
 太枠部分は前回発表時からの変更箇所となります。
 太字斜体部分は今後2週間以内に届出予定のものとなります。

No. (届出No.)	項目	区分	車種 ¹	生産期間 ²	台数 (生産台数)	不具合件数 ³			届出進捗 (届出予定)		不具合内容
						人身	物損	火災			
1 (1092)	クラッチハウジング破損	大ト	ザ・グレート、 スーパーグレート	83/6～99/4	168,002	3	15	3	5/26	大型トラックのエンジンと変速機(トランスミッション)の結合部(クラッチハウジング)の剛性が不足しているものがあり、また、トランスミッション・メーンシャフト後部のスプライン部と縦き手(アウトプットフランジ)の噛み合い部分の隙間が不適切なため、当該隙間が経年変化などで増大すると、高速走行時の駆動系振動が大きくなり、クラッチハウジングに亀裂が生じるものがある。また、クラッチハウジングに製造時の傷などがある場合、この亀裂の発生が早まる可能性がある。このため、そのままの状態で使用を続けると亀裂が進行し、最悪の場合、クラッチハウジングが破断してトランスミッション又はプロペラシャフトが脱落、又は周辺部品を破損させ二次的不具合を生じることがある。	
2 (1257)	大型トラックプロペラシャフト脱落	大ト	ザ・グレート スーパーグ レートのFS、F Y	91/9～02/10	15,925	0	6	0	10/7	リコーラー実施後の車両においてタンデムプロペラシャフトを取付けているリヤリヤデフのキャッスルナットがゆるんで、最悪の場合ナットが外れプロペラシャフトが脱落する。	
3 (1111)	バス プロペラシャフト破損	大バ	エアロQueen、 エアロバス	91/12～02/4	266	0	2	0	6/15	流体式リターダ(補助制動装置)を装着した大型バスにおいて、プロペラシャフト接続部(エンドヨーク)の構造が不適切なため、エンドヨークに設けてある十字継手(スパイダ)のベアリング抜け出し防止用のストッパーが発進停止の繰り返しにより摩耗する、又はプロペラシャフト組立て時に損傷する可能性がある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、ベアリングにガタを生じてプロペラシャフトが過大に振動し、最悪の場合、ベアリング固定金具又は取付ボルトが折損して、プロペラシャフトが脱落するおそれがある。	
4 (1259)	駐車ブレーキスプリング破損	大バ 大ト	エアロQueen、ザ・グ レートFU、FR	92/12～98/7	2,917	0	0	0	10/7	スプリングが腐食して折損した場合、下記 又は の現象が発生。スプリング折損により駐車ブレーキ能力が低下する。走行中に駐車ブレーキが効き始める。折損したスプリングでタイヤフラムが傷ついた場合、エア洩れが生じて、駐車ブレーキが解除できない。	
5	フロントサスペンションボールジョイント摩耗	小ト 小バ	キャンター、 ローザ (フロント独立 懸架車)	93/11～98/12		0	0	0	10月下旬	ボールジョイントの樹脂ベアリングが摩耗してガタが発生し、そのままの状態で使用するとボールジョイントの金属ケースが損傷し、最悪の場合、ボールジョイントがサスペンションアームから外れ、走行不能になるおそれがあります。	
6	タイロッドボールジョイント摩耗	小ト 小バ	キャンター、 ローザ (フロントリジ ットアクスル車)	93/11～98/7		0	0	0	10月下旬	タイロッドエンドのボールジョイントが摩耗して、走行中ハンドルに振動を感じることがあり、そのままの状態で使用を続けると、最悪の場合ボールジョイントがタイロッドから外れ、走行不能になるおそれがあります。	
7 (1083)	燃料タンクブラケット破損	小ト	キャンター	97/2～02/5	418	0	0	0	6/15	燃料タンク取付金具の寸法精度並びに燃料タンクを取付金具にボルトで締結する部分の構造及び当該ボルトの締付けトルクが不適切なため、走行中の振動等により当該ボルト又は取付金具をフレームに固定するボルトに緩みが発生するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、燃料タンクに亀裂が発生し、燃料漏れが発生するおそれがある。また取付金具に亀裂が発生し、最悪の場合、当該取付金具が破損し燃料タンクが脱落するおそれがある。	
8 (1258)	駐車ブレーキケーブル破損	中ト 小ト 小バ	ファイター、キャン ター、ローザ	93/10～01/5	367,697	2	1	0	10/7	駐車ブレーキのケーブルが、T/M後部のセンターブレーキとの係合部で折損し、駐車ブレーキが効かなくなるおそれがあります。	
9 (1176)	パワーステアリングサーキュレタ破損	小ト	キャンター	93/10～97/2	15,227	0	0	0	7/28	パワーステアリングギヤボックス 内部のボール循環筒(サーキュレタ)の構造が不適切なため、過大な操舵入力に対する強度余裕が不足している。そのため、タイヤが縁石に接触している状態でハンドル操作を繰り返すと、当該サーキュレタが破損し、最悪の場合、操舵不能となるおそれがある。	
10 (1208)	デッドアクスルハブベアリング焼付き	大ト	ザ・グレート、 スーパーグ レートの FU車(除く25t)	89/9～00/3	31,255	0	0	14	8/25	後軸(デッド軸)のハブ内部に水が浸入しハブベアリングが焼付き、タイヤのバーストや最悪の場合車両火災に至る恐れがある。	
11	フロント独立懸架アームシャフト	大バ 中バ	大型バスMS72 、MU515.525 中型バス MM526.527	82/12～95/8		0	0	0	10月下旬	前輪独立懸架装置のアップ・ロアームに亀裂が発生し、このままの状態で使用を続けると最悪の場合アップ・ロアームが折損し走行不能・操舵不能になるおそれがある。	
12	T/M ニードルベアリング不具合	大ト 大バ	スーパーグレート 大型バス	00/3～02/12 00/3～03/9	7,719	0	0	0	10月下旬	3rdのニードルベアリングの不具合により、T/M操作不能、ギヤ入り不良、ギヤ抜け、異音が発生する。	
14 (1209)	キャブフックかかり不良	中ト	ファイター FK,FL,FM,FN (手動チルト車)	92/6～98/9	91,524	1	1	0	9/1	フックコントロールレバーが下がり切らない位置でチルト操作をすると、フックとシャシ部品が干渉してフックが変形し機能しないおそれがあります。最悪の場合、急制動時フックが外れキャブが前に倒れるおそれがあります。	
15 (1237)	リヤリーフスプリングのハンガーブラケットからの脱落	大ト	ザ・グレート、 スーパーグ レートFU	94/12～01/6	14,347	1	1	0	9/29	FUトランサススペンション車において、高重心の積載をした状態で急な旋回をした時に、旋回内側の後々軸リーフスプリングアクスル側ブラケットのリバウンド押さえの爪部から外れることがある。	

1. U-#届出済以外の案件については、6/30日記者会見で公表した車種ですが今後変更もありえます。
 2. U-#届出済以外の案件については、6/30日記者会見で公表した生産期間ですが今後変更もありえます。
 3. U-#届出済以外の案件については、6/14日記者会見で公表した件数ですが今後変更もありえます。
 太枠部分は前回発表時からの変更箇所となります。
 太字斜体部分は今後2週間以内に届出予定のものとなります。

No. (届出No.)	項目	区分	車種 ¹	生産期間 ²	台数 (生産台数)	不具合件数 ³			届出進捗 (届出予定)	不具合内容
						人身	物損	火災		
16	リヤアクスルチューブ破損	大ト	ザ・グレート、スーパーグレート の低床車 FN4,FS4,FS5,FY5	83/7～98/12		0	0	0	10月下旬	リヤアクスルチューブがアウターベアリング付近で折損し、走行不能になるおそれがある
17 (1228)	非常ドアの開放	小バ	ローザ BE6, BG6 (非常口付車)	97/10～04/6	3,666	0	0	0	9/22	走行中に非常扉の警報ブザーが鳴ることがありそのままの状態で行った場合、非常扉開放の恐れがある。
18 (1230)	ABS/EZGO ハイドロリックユニット不具合	小ト 小バ	キャンター、ローザ	99/3～00/2	3,283	0	0	0	9/29	ブレーキの油圧を制御するハイドロリックユニット(HU)内部の故障により、ブレーキペダルのストロークが増加し、制動力が低下するおそれがあります。
19 (1166)	スプリングブレーキエアチャンバーブラケット破損	中ト	ファイター	99/5～02/2	108	0	0	0	7/14	後2軸車において、後々軸のスプリング式駐車ブレーキチャンバー取付金具(ブラケット)の強度が不足しているため、走行中の振動等により当該ブラケットに亀裂が発生するものがある。そのため、そのままの状態を続けると、当該ブラケットが破損し駐車ブレーキ能力が低下して、最悪の場合、チャンバーが脱落し、当該後々軸の駐車ブレーキが作動不能になる、又は、エアホースが損傷してエア漏れを生じるおそれがある。
20 (1167)	スプリングブレーキチャンバーへの水侵入	中ト 中バ	ファイター エアロミディ	99/3～00/6	1,760	0	0	0	7/14	スプリング式駐車ブレーキ装着車において、チャンパー本体とホイールシリンダとの接続部のシール材の塗布が不適切なため、チャンパー及びホイールシリンダ内に水が浸入することがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、ホイールシリンダ内部及びウェッジが錆びついて破損し、あるいは、冬期に凍結し、駐車ブレーキが作動不良となるおそれがある。
21 (1260)	ホイールパークウェッジ破損	大ト 大バ	エアロミディ、エアロミディ パス、スーパーグレート	92/12～98/7	2,915	0	0	0	10/7	駐車ブレーキ用ウェッジ部が破損し、駐車制動能力が低下する。(ウェッジ部破損損のみ)
22 (1112)	ホイールパークウェッジ破損	大ト 大バ	大型バス 98MS8、スーパーグレート98FU5 ブッシュ式ホイールパーク仕様車 (FUはオプション)	97/12～98/12	552	0	0	0	7/14	スプリング式駐車ブレーキ装着車において、ブレーキシューを拡張するウェッジロッド先端部のローラに熱処理が不適切なものがある。そのため、当該ローラが早期に破損して、最悪の場合、駐車ブレーキが作動不良となり、駐車制動力が低下するおそれがある。
23 (1168)	ハイドロリックブースタへのエアの混入	小ト	キャンター (ハイドロリックブースタ装着車)	99/3～04/5	9,018	2	2	0	7/21	ハイドロリックブースタASSYの故障により、フロントブレーキオイルラインにエアが混入し、徐々にペダルのストロークが増加して、制動力が低下するおそれがあります
24 (1265)	プロペラシャフト脱落	大ト	ザ・グレート、スーパーグレート FV-R	96/7～04/9	2,629 2,821	1	1	0	10/13	後前軸インプット部エンドヨークを止めるキャッスルナットが緩み、プロペラシャフトが脱落する。
25 (1262)	チェントランスファオイル洩れ	中バ	エアロミディ MJ	84/12～93/9 88/1～93/8	2,094	0	0	9 6	10/13	連続高速走行時チェントランスファー内油温が上昇し、ブリーザーからオイルが噴出することがあり、最悪の場合、火災に至るおそれがある。
26 (1222)	フライホイールリングギアの磨耗と破損	大バ	大型バス MP3(6M7)	00/5～04/5	2,052	0	0	2	9/15	リングギヤにスターバネが引っ掛かり、スターバネが回転しなくなる。(エンジン始動不良)に状態でスターバネ操作を繰り返した場合は、スターバネネットスイッチがショートし、スターバネとスターバネ間のバネに大電流が流れ、スターバネが焼損する恐れがある。
27 (1221)	フロントハブベアリングへの水侵入	小ト	キャンター (フロント独立懸架車)	02/5～04/3	35,395	0	0	0	9/15	フロントハブピンナーベアリングの発錆・損傷によりフロントタイヤ付近からの異常なノイズ・振動、またはガタが発生し、最悪の場合、走行不能となるおそれがあります。
28 (1236)	フロントハブベアリング焼き付き	大ト 中ト 大バ 中バ	スーパーグレート、中型トラック、大型バス、中型バス	00/3～04/9	56,229	0	1	9	9/22	フロントハブアウターベアリングに焼付きが発生する
29 (1235)	フロントハブベアリング焼き付き	中ト 中バ	ファイター、エアロミディ	02/5～04/9	33,990	0	0	1	9/22	フロントハブベアリングの焼き付きにより、フロントタイヤ付近からの異常なノイズ・振動またはガタが発生し、走行不能となるおそれがあり、最悪の場合、脱輪のおそれがあります。
30	ハブ破損(ベアリング破損による)	中ト 中バ	ファイター、エアロミディ			0	0	0	9/22	フロントハブベアリングの焼き付きにより、フロントタイヤ付近からの異常なノイズ・振動またはガタが発生し、走行不能となるおそれがあり、最悪の場合、脱輪のおそれがあります。

1. U-#届出済以外の案件については、6/30日記者会見で公表した車種ですが今後変更もありません。
 2. U-#届出済以外の案件については、6/30日記者会見で公表した生産期間ですが今後変更もありません。
 3. U-#届出済以外の案件については、6/14日記者会見で公表した件数ですが今後変更もありません。
 太字部分は前回発表時からの変更箇所となります。
 太字斜体部分は今後2週間以内に届出予定のものとなります。

No. (届出No.)	項目	区分	車種 ¹	生産期間 ²	台数 (生産台数)	不具合件数 ³			届出進捗 (届出予定)	不具合内容
						人身	物損	火災		
31 (1224)	A/T オイルホース破損	中ト	ファイター (3速オートマチック ランスミッション車)	92/9～03/1	1,771	0	0	1	9/15	A/T油温上昇によりA/Tオイルクーラホースが破損して、オイルもれが発生し、最悪の場合、車両火災に至るおそれがあります。
32 (1241)	インジェクションポンプラックの破損	大ト 大バ	大型トラックザ・ グレート: FU,FV,FS 他 大型バスI700 イーン:MS	94/11～96/7	5,160	0	0	12	9/22	噴射ポンプのコントロールラックが折損し、エンジンが吹け上がる。
33 (1210)	キャブ電源ハーネスの損傷	大ト	スーパーグ レート FU,FV,FT,FS他	96/4～03/11	53,717	0	0	0	9/1	キャブ前面の電源ハーネスの被覆が損傷・断線し、最悪の場合、エンジンが停止するおそれがある
34 (1254)	燃料パイプクランプの脱落	小ト 小バ 中ト	ファイター:FK キャン ター:FE,FF,FG エアロディ:ME, ローザ:BE,BG	98/9～04/8	75,596	0	0	35	9/29	噴射管クランプが脱落し、スタータ電源に配線されているS端子付近に落下する可能性があり、その場合、エンジン始動時、あるいは始動直後の走行時にショートしてスタータハーネス等から発煙し、最悪の場合、発火するおそれがあります。
35 (1223)	ターボエンジン用の箱型マフラーの亀裂	大ト	スーパーグ レートの FV-R,FP-R (8M22T, 6M70T搭載車)	00/3～03/1	739	0	0	5	9/15	箱型マフラーのドラム部栓溶接際より亀裂し、高温の排気ガスが洩れるおそれがある。
36 (1238)	エンジンリヤマウント破損	大ト	スーパーグレート: FU,FV,FT,FS 他	00/1～04/8	28,651	0	1	0	9/29	エンジンリヤマウントラバーの金具とラバーの際に亀裂が発生し、最悪の場合、エンジンリヤマウントラバーが破損して、エンジン、トランスミッションが搭載位置からずれるおそれがある。
37 (1224)	A/T油温上昇	中ト	ファイター (3速オートマチック ランスミッション車)	92/9～97/8	967	0	0	0	9/15	A/T油温の上昇によりA/T内部の部品に異常が生じ、走行中に変速不能となったり、発進不能となるおそれがあります。
38 (1266)	アクスルシャフト破損	大ト	ザ・グレート FT	83/7～95/1	3,864 3,035	1	0	0	10/13	急発進等でリヤアクスルシャフトに急激な力が繰り返し加わると、最悪の場合、リヤアクスルシャフトが亀裂破損する
39	ナックルアーム破損	小ト	キャンター:FE	80/2～89/3	222,960	0	0	0	10月中旬	ナックルアームに亀裂が発生し、そのままの状態で使用続けると最悪の場合ナックルアームが折損し操縦不能になるおそれがあります。
40 (1198)	キャブハーネス不具合によるスタータ破損	小ト	キャンター	95/3～96/12	36,787	0	1	0	8/4	キャブ内中央付近イハネ内で、ワイパー作動時にワイパーリンクとハーネスが干渉し、ハーネスがショートして電装品の作動に異常(ワイパー作動時、ウォーキングランプ点灯やスタータが回るなど)をきたすおそれがあります。

1. U-#届出済以外の案件については、6/30日記者会見で公表した車種ですが今後変更もあります。
 2. U-#届出済以外の案件については、6/30日記者会見で公表した生産期間ですが今後変更もあります。
 3. U-#届出済以外の案件については、6/14日記者会見で公表した件数ですが今後変更もあります。
 太字斜体部分は前回発表時からの変更箇所となります。
 太字斜体部分は今後2週間以内に届出予定のものとなります。

No. (届出No.)	項目	区分	車種 ¹	生産期間 ²	台数 (生産台数)	不具合件数 ³			届出進捗 (届出予定)	不具合内容
						人身	物損	火災		
41 (1242)	ナックルアームボールスタッド折損	小ト	キャンター:FE	89/10～91/5	34,837	0	0	0	9/22	ナックルアームのボールスタッドの強度余裕が不足しているため、据切りの多用や操舵頻度の高い走行を繰り返すと、当該ジョイントに亀裂が発生するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、最悪の場合ボールスタッドが折損して操舵不能となるおそれがある。
42	排気パイプ亀裂	大バ	エアロキーン: MS エアロキング; MU	92/10～98/8	3,026	0	0	0	10月中旬	排気フロントパイプが亀裂し、同パイプ上層にあるハーネスを滑脱する可能性がある。
43 (1261)	T-ドライブシステム脱落	中バ	エアロミディ MJ, MK	85/11～96/3	3,797	0	0	0	10/13	走行中に車体後部から異常振動・異音が発生する。そのまま走行し続けた場合、トランスバースギヤボックスインプット部コニオンフランジのガタが増大し、フライホイールハウジングのトランスバースギヤボックス取付部が破損する恐れがある。
44 (1199)	T/M シフトワイヤ折損	小ト	キャンター	99/3～00/7	8,171	0	0	0	8/4	シフトワイヤを中間で固定するクランプに取り付け角度の不適切なものがあり、それによりワイヤの曲げ(R)が小さくなり、最悪の場合、シフトワイヤが折損するおそれがあります。
46 (1228)	荷物扉開放	小バ	ローザ BE6, BG6 (観音扉付き車)	97/10～02/3	1,077	0	0	0	9/22	走行中にキャッチからロックが外れ、観音扉が開放する恐れがある。
47 (1229)	急ブレーキ時の非常扉シート倒れ	大バ 中バ	大型バスMS7.8 MP2.6,3.7 中型バスMJ (路線) MK MM3.8 ME	74/7～04/6	51,943	5	0	0	9/22	急ブレーキ時にバランスを崩した乗客が非常口横のシート(前転倒式)の背もたれにつかまると、シートのストッパーが外れ、シートが前に倒れる。

改善対策一覧

13 (261)	キャブチルト警告灯不良	大ト 中ト	(大ト)グレート、 スーパーグレート FU, FV, FP, FT, F W(手動チルト車) (中ト)ファイター FK, FL, FM, FN (手動チルト車)	83/8～99/11	246,862	0	0	0	9/1	キャブチルトロックが解除しているにもかかわらず、キャブチルトウォーニングランプが点灯しないおそれがあります。
45	AT車のPレンジ不良	小ト 小バ	キャンター、 ローザ (オートマチック トランスミッション 装着車)	90/11～01/9		0	3	0	10月中旬	レンジセレクターレバーをP-レンジにシフトして急坂路に駐車した時、オートマチックトランスミッション内のP-レンジギヤが機能しないことがあり、駐車ブレーキが引かれていない場合、あるいは引きが不十分な場合、車両が動き出すおそれがあります。

今後2週間以内に届出準備が完了する項目

資料2

2004.10.13

(1/4)

今回追加の案件
47項目

No.	市場措置アイテム	リコール/ 改善対策	対象機種	生産台数 製作期間	実在登録 台数	届出予定日
12	T/M ニードルベアリング不具合	リコール	大型トラック スーパーグレード:FP,FS,FT,FU,FJ,FW,FY,KS 大型バス エアロキーン、エアロキング:MS,MU	7,719 00/3 ~ 02/12 00/3 ~ 03/9	7,605 (8月末集計)	10月下旬

先週までに発表した届出予定案件

No.	市場措置アイテム	リコール/ 改善対策	対象機種	生産台数 製作期間	実在登録 台数	届出予定日
39	ナックルアーム破損	リコール	小型トラック キャンター:FE	222,960台 80/02 ~ 89/03	約 53,000	10月中旬
42	排気パイプ亀裂	リコール	大型バス エアロキーン:MS, エアロキング:MU	3,026台 92/10 ~ 98/08	2,926 (8月末集計)	10月中旬

注:台数・生産期間については国土交通省殿との調整により変更も有り得ます。

今後2週間以内に届出準備が完了する項目

資料2

2004.10.13

(2/4)

<ご参考> 本日届出の案件

	市場措置アイテム	リコール/ 改善対策	対象機種	生産台数 製作期間	実在登録 台数	届出予定日
24 (1265)	プロペラシャフト脱落	リコール	大型トラック サ・グレート, スーパ・グレート: FV-R	2,620台 2,821台 96/07 ~ 04/09	2504 2415	2004/10/13
25 (1262)	チェーントランスファオイル洩れ	リコール	中型バス エアロミティ: MJ	2,094台 88/01 ~ 93/08	1,906	2004/10/13
38 (1266)	アクスルシャフト破損	リコール	大型トラック サ・グレート: FT	3,864台 3,035台 83/07 ~ 95/01	4503 1440	2004/10/13
43 (1261)	T-ドライブシステム脱落	リコール	中型バス エアロミティ: MJ, MK	3,797台 85/11 ~ 96/03	3285 3263	2004/10/13

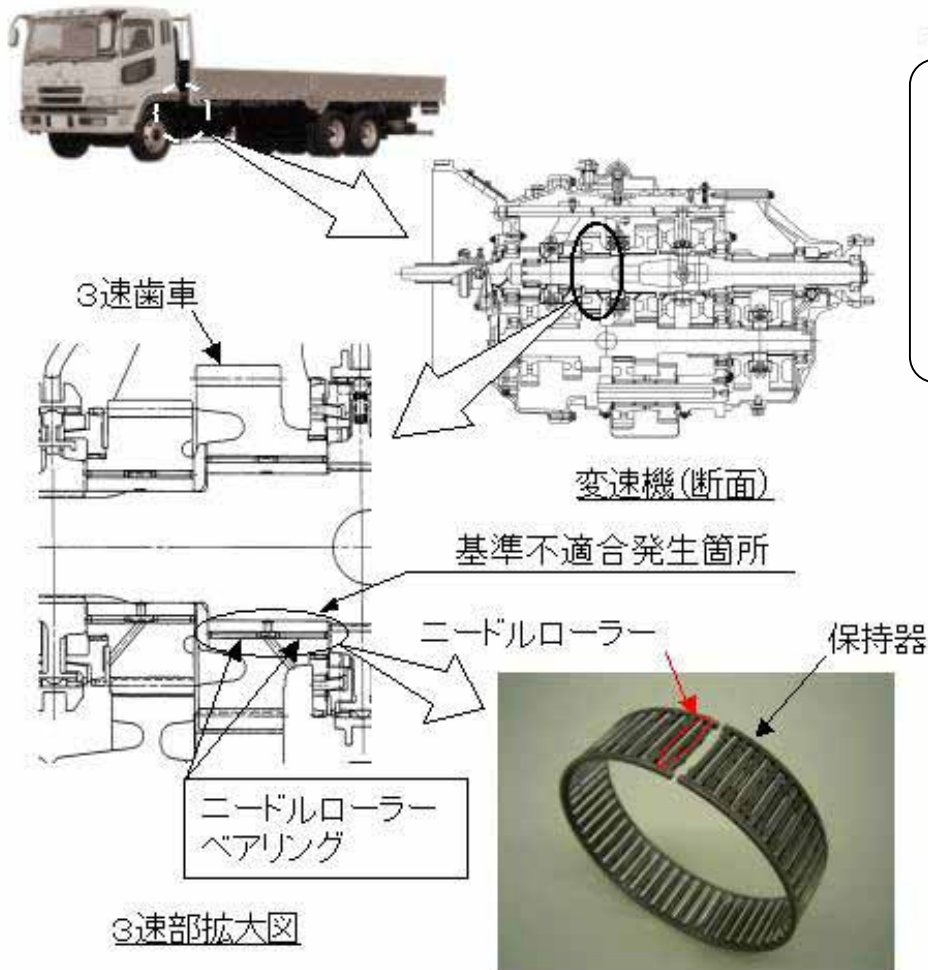
<ご参考> 本日届出の案件, 47項目以外

(1268)	機械式自動変速機 制御不具合	リコール	大型トラック スーパ・グレート: FU, FV, FT, FS 他 中型トラック ファイター: FK 大型バス エアロミティ: MS	3,724台 98/07 ~ 04/05	3,653	2004/10/13
--------	----------------	------	--	-------------------------	-------	------------

: 欄の括弧はリコール届出番号を示す。

注: 台数・生産期間については国土交通省殿との調整により変更も有り得ます。

リコール	12 T/M ニードルベアリング 不具合 (大型トラック・バス)	生産7,719台 '00/03 ~ '03/9	实在登録台数 7,605台
------	-------------------------------------	----------------------------	------------------



トランスミッション内部の3速歯車を支えるベアリング(ニードルローラーベアリング)について、ニードルローラー保持器の強度に余裕が少なく、走行時の負荷により当該保持器が変形・破損する。そのため、そのままの状態では連続高速走行など潤滑が厳しい走行を続けると、シフト不良、異音等が発生して、最悪の場合走行不能となる。

改善内容

当該ニードルローラーベアリングを対策品と交換する。

商品情報 連絡書件数 〔初回情報〕 (01/08月)	不具合件数			指示改修
	人身	物損	火災	
54	0	0	0	無し

: 6/14会見時は商連書49件(04.03.31カット外)と発表したが、4/1以降の件数変動等で、5件を追加。

注1. は、交換部品を示します。
 2. 記載内容は国交省届出時点で変更となる場合があります。

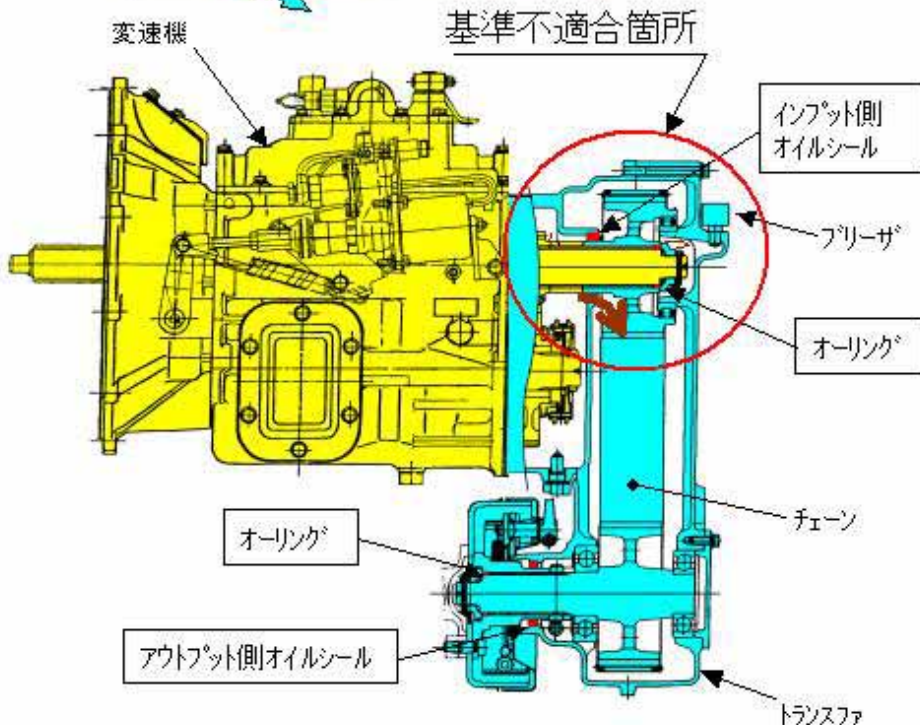
今後2週間以内に届出準備が完了する項目

資料2

(本日届出完了のもの)

(4/4)

リコール (1262)	25 チェーントランスファオイル洩れ (中型バス)	生産2,094台 '88/01 ~ '93/08	实在登録台数 1,906台
----------------	------------------------------	-----------------------------	------------------



チェーン駆動式動力伝達装置（トランスファ）の、オイルシールの材質が不適切なため、耐熱性が不足し、連続高速走行によりトランスファ油温が上昇した場合に、当該オイルシールが損傷して変速機のオイルがトランスファ内に流入することがある。そのため、チェーンの攪拌抵抗増加によって油温が更に上昇したオイルがプリーザから噴出し、最悪の場合火災に至るおそれがある。

改善内容

オイルシールとオールクを対策品と交換する。

商品情報 連絡書件数 〔初回情報 94/06月〕	不具合件数			指示改修
	人身	物損	火災	
10	0	0	6	無し

:6/14会見時は商連書26件、火災9件(04.03.31カット)と発表したが、その後の再確認の結果、オイルシールの斜め装着による初期不具合など17件(精査した結果火災に至ってなかったもの2件、オイル量過多による火災1件含む)を除き、4/1以降発生した不具合1件を追加した。

:6/14会見時は初回情報94/02月と発表したが、上記情報を除外したことにより初回情報94/06月と訂正。

注1. □ は、交換部品を示します。

2. 記載内容は国交省届出時点で変更となる場合があります。

本日届け出の人身・物損事故関連補足資料

24(1265) プロペラシャフト脱落(人身)・・・9月29日会見にて既御報告済み

2004.10.13

型式	架装	不具合発生年月日	登録年月日	走行距離 [km]	積載物	発生時の状況	負傷人数	性別	年齢	受傷部位	受傷程度	治療費負担者	発生場所
1 FV514H	トラクター	2004/07/28	1998/02/27	544,106	鋼線材	走行中異音発生しプロペラシャフトが脱落して走行不能。脱落したプロペラシャフトが反対車線に転がり、反対車線を走行していた軽乗用車2台、乗用車1台、大型トラック1台に脱落した部品が接触。軽乗用車の乗員が打撲による首・肩の痛み、乗用車の乗員が腰に打撲を負い腰痛を訴えて通院中。	2人	男性 男性	30歳代 30歳代	首、肩 腰	・痛み(外傷なし) ・打撲、腰痛 2名共に通院中	保険会社 (プロペラシャフト脱落が発生した車両保有者が加入)	北九州市都市 高速道路4号線下り 紫川インター付近

24(1265) プロペラシャフト脱落(物損)

型式	架装	不具合発生年月日	登録年月日	走行距離 [km]	積載物	発生時の状況	ドライバー年齢性別	発生場所
1 FV513H	トラクター	2003/10/03	1997/03/10	632,171	重機	走行中にプロペラシャフトが脱落し走行不能。インターフェアクーケースのねじ部が折損。後続の乗用車が破片に接触する物損事故発生。	男性 50歳代	首都高湾岸線下り 葛西インター出口付近

25(1262) チェーントランスファオイル洩れ(火災)

	型式	架装	不具合発生年月日	登録年月日	走行距離 [km]	実際の用途	発生時の状況	ドライバー年齢性別	発生場所
1	MJ117F	観光	1994/11/12	1988/03/12	328,700	観光	約50km/hにて営業運行中、運転手が車両後部より白煙確認。秦荘ハ-キングエリアに停車し点検したところ一部炎が認められ運転手が消火器と水道水で消火。トランスファ周辺部焼損。	男性 50歳前後	滋賀県愛知郡秦荘町 名神高速道上り 秦荘ハ-キングエリア手前 3-4kmポイント
2	MJ527F	観光	1995/02/22	1988/06/08	349,624	観光	営業運行中、運転手が車両後部より発煙を認める。黒磯ハ-キングエリアに停車後トランスファとサイドブレーキドラム間からオイル噴出し出火。運転手が車両搭載の消火器と、近くに停車していた車両の消火器を使って消火。トランスファ周辺部分焼損。走行速度不明。	男性 年齢不明	栃木県黒磯市 東北自動車道上り 黒磯ハ-キングエリア手前付近
3	MJ527F	観光	1995/04/24	1991/11/28	254,926	観光	営業運行中、車両後部エンジン付近より火災発生。高瀬ハ-キングエリアに停車。道路公団巡回車が発見。消防車手配し消火。トランスファ周辺部分焼損。走行速度不明。	男性 48歳	香川県三豊郡高瀬戸町 高松自動車道 高瀬ハ-キングエリア
4	MJ527F	観光	1999/10/22	1989/03/01	303,632	レンタカー	約80~100km/hにて乗客を乗せ走行中、運転手が右エンジンルームより白煙確認。阿闍羅ハ-キングエリアに停車し、消火器で消火するとともに消防に通報。消防車出動。火は認められなかったものの冷却のため放水。トランスファ周辺部分損傷。営業運行中か否か確認中	男性 年齢不明	青森県南津軽郡大鰐町 東北自動車道下り 阿闍羅ハ-キングエリア付近
5	MJ527F	自家用	2001/07/01	1990/02/28	274,471	-	約80km/hにて走行中、運転手が車両後部より発煙確認。運転手が消火器で消火し、その後自走にて販社に入庫。トランスファ周辺部分焼損。	男性 年齢不明	佐賀県佐賀郡大和町 長崎自動車道上り 佐賀大和インターチェンジ付近
6	MJ527F	観光	2003/10/18	1992/07/16	394,902	観光	約90km/hにて営業運行中、運転手がエンジンルームからの発煙を確認。津軽サービエリアに停車し右エンジンリッドを開くとトランスファリーザに出火を認めた。消火器で消火。トランスファ周辺部分焼損。	男性 40代位	青森県南津軽郡平賀町 東北自動車道上り 津軽サービエリア付近

38(1266) アクスルシャフト破損(人身)・・・9月29日会見にて既御報告済み

2004.10.13

	型式	架装	不具合発生 年月日	登録 年月日	走行距離 [km]	積載物	発生時の状況	負傷 人数	性別	年齢	受傷 部位	受傷程度	治療費 負担者	発生場所
1	FT418L	タンクローリー	1994/09/19	1988/10/07	324,849	重油	下り坂で、Rev.発進時、走行不能となる。パーク及びギヤ入れ駐車が不能になり、ドライバがブレーキを繰り返し使用し、車両を移動しようとした為、途中でエア圧が減少しブレーキが効かなくなり、民家の庭に転落。重油が約3リットル流出し、警察、消防が出動した。ドライバは車両が転落直前に車道へ飛び降り、その際、手と足に軽度の打撲とすり傷を負った。	1人	男性	26歳	手、足	軽度の打撲、すり傷	(通院なし、治療費なし)	静岡県熱海市 (住所確認中)

市場措置実施状況 (10月9日現在)

1. 大型トラック・バス ハブ関係の実施状況

(1/3)

No	市場措置アイテム (届出日・届出番号)	対象台数		実施状況					
		届出台数 (製作期間全体の範囲)	実在登録台数 (04年8月末現在)	暫定措置		恒久措置		合計	
				実施台数	実施率(%)	実施台数	実施率(%)	実施台数	実施率(%)
1	大型トラック・バス フロントハブ不具合対策リコ-ル (04年3月24日・1056) (04年4月22日・1076)	217,407 ('83年7月11日~'03年2月3日)	102,851	20,089 (20,001)	19.5% (19.4%)	56,996 (56,821)	55.4% (55.2%)	77,085 (76,822)	74.9% (74.7%)
2	大型トラック・バス リヤハブ不具合暫定対策リコ-ル (04年4月15日・1072)	21,769 ('89年8月31日~'92年11月6日)	9,937	6,093 (6,018)	61.3% (60.6%)	—	—	6,093 (6,018)	61.3% (60.6%)
3	大型トラック25トン車 フロントハブ不具合対策リコ-ル (04年8月19日・1204)	2,617 ('94年11月12日~'96年3月5日)	2,353	24 (21)	1.0% (0.9%)	560 (484)	23.8% (20.6%)	584 (505)	24.8% (21.5%)

・()内数値は、10月2日時点の数値を示す。

2. 対策が必要な47案件の市場措置実施状況

No	市場措置アイテム (届出日・届出番号)	対象台数		実施状況			
		届出台数 (製作期間全体の範囲)	実在登録台数	暫定措置		恒久措置	
				実施台数	実施率(%)	実施台数	実施率(%)
1	大型トラック クラッチハウジング不具合対策リコ-ル (04年5月26日・1092)	168,002 ('83年6月2日~'99年4月27日)	71,876 (04年8月末現在)	68,768 (68,700)	95.7% (95.6%)	101 (88)	0.1% (0.1%)
2	キャンター (ル-トバン仕様車)燃料タンク不具合対策リコ-ル (04年6月15日・1083)	418 ('97年2月28日~'02年5月31日)	390 (04年7月末現在)	—	—	283 (276)	72.6% (70.8%)
3	MS8流体式リタ-ダ装着車プロペラシャフトエンドヨ-ク不具合対策リコ-ル (04年6月15日・1111)	266 ('91年12月21日~'02年4月10日)	264 (04年7月末現在)	12 (18)	4.5% (6.8%)	113 (103)	42.8% (39.0%)
4	MS8・FU5 スプリング式駐車ブレーキ ウェッジ不具合対策リコ-ル (04年7月14日・1112)	552 ('97年12月12日~'98年12月21日)	548 (04年7月末現在)	212 (215)	38.7% (39.2%)	96 (81)	17.5% (14.8%)
5	ファイター スプリング式駐車ブレーキチャンパー不具合対策リコ-ル (04年7月14日・1166)	108 ('99年5月12日~'02年2月14日)	107 (04年7月末現在)	47 (46)	43.9% (43.0%)	10 (9)	9.3% (8.4%)
6	ファイター・エアロミディー スプリング式駐車ブレーキチャンパー不具合対策リコ-ル (04年7月14日・1167)	1,760 ('99年3月10日~'00年6月14日)	1,723 (04年7月末現在)	769 (598)	44.6% (34.7%)	49 (35)	2.8% (2.0%)
7	キャンターブレーキライン不具合対策リコ-ル (04年7月21日・1168)	9,018 ('99年3月31日~'04年5月12日)	8,817 (04年7月末現在)	3,365 (3,192)	38.2% (36.2%)	191 (147)	2.2% (1.7%)
8	キャンター ステアリングギヤ ボックス不具合対策リコ-ル (04年7月28日・1176)	15,227 ('93年10月25日~'97年2月13日)	12,418 (04年7月末現在)	3,203 (2,961)	25.8% (23.8%)	10 (7)	0.08% (0.06%)
9	キャンター キャブハーネスワイパーリンク干渉不具合対策リコ-ル (04年8月4日・1198)	36,787 ('95年3月14日~'96年12月25日)	31,409 (04年7月末現在)	—	—	6,064 (5,240)	19.3% (16.7%)
10	キャンター トランスミッションコントロールケーブル不具合対策リコ-ル (04年8月4日・1199)	8,171 ('99年3月24日~'00年7月30日)	7,929 (04年7月末現在)	2,045 (1,962)	25.8% (24.7%)	1,212 (1,045)	15.3% (13.2%)
11	大型トラック 後軸(非駆動軸)ハブベアリング不具合対策リコ-ル (04年8月25日・1208)	31,255 ('89年9月26日~'00年3月16日)	18,177 (04年7月末現在)	9,732 (9,490)	53.5% (52.2%)	0 (0)	0.0% (0%)
12	中型トラック キャブフック不具合対策リコ-ル (04年9月1日・1209)	91,524 ('92年6月29日~'98年9月29日)	75,693 (04年7月末現在)	18,562 (17,366)	24.5% (22.9%)	32 (0)	0.04% (0%)
13	大型トラック キャブ全面ハーネス不具合対策リコ-ル (04年9月1日・1210)	53,717 ('96年4月24日~'04年7月19日)	52,009 (04年7月末現在)	20,099 (19,067)	38.6% (36.7%)	29 (8)	0.06% (0.02%)
14	大型トラック・中型トラック キャブチルト警告灯不具合改善対策 (04年9月1日・261)	246,852 ('83年8月27日~'99年11月30日)	142,425 (04年7月末現在)	19,808 (19,808)	13.9% (13.9%)	0 (0)	0.0% (0%)

2. 対策が必要な47案件の市場措置実施状況

No	市場措置アイテム (届出日・届出番号)	対象台数		実施状況			
		届出台数 (製作期間全体の範囲)	実在登録台数	暫定措置		恒久措置	
				実施台数	実施率(%)	実施台数	実施率(%)
15	キャンター フロントハブベアリング不具合対策リコール (04年9月15日・1221)	35,395 ('02年5月24日~'04年3月11日)	34,840 (04年8月末現在)	10,006 (9,664)	28.7% (27.7%)	0 (0)	0.0% (0%)
16	大型路線バス フライホイールリングギヤ不具合対策リコール (04年9月15日・1222)	2,052 ('00年5月18日~'04年5月14日)	2,052 (04年7月末現在)	—	—	20 (1)	1.0% (0.05%)
17	大型トラック 消音器(箱型マフラー)不具合対策リコール (04年9月15日・1223)	739 ('00年3月9日~'03年1月12日)	724 (04年7月末現在)	255 (250)	35.2% (34.5%)	10 (2)	1.4% (0.3%)
18	中型トラック 自動変速機搭載車 不具合対策リコール (04年9月15日・1224)	1,771 ('92年9月16日~'03年1月15日)	1,456 (04年7月末現在)	293 (281)	20.1% (19.3%)	0 (0)	0.0% (0%)
19	ローザ 非常口扉・後部観音開き扉不具合対策リコール (04年9月22日・1228)	4,743 ('97年10月9日~'04年6月11日)	4,640 (04年7月末現在)	—	—	2 (0)	0.0% (0%)
20	大・中型バス 非常口付近座席転倒防止対策リコール (04年9月22日・1229)	51,941 ('74年7月20日~'04年6月21日)	28,241 (04年7月末現在)	—	—	2,847 (0)	10.1% (0%)
21	中型トラック・バス フロントハブベアリング不具合対策リコール (04年9月22日・1235)	33,990 ('02年5月21日~'04年9月8日)	32,177 (04年8月末現在)	—	—	0 (0)	0.0% (0%)
22	大型トラック・バス フロントハブベアリング不具合対策リコール (04年9月22日・1236)	56,229 ('00年3月2日~'04年9月15日)	53,183 (04年7月末現在)	—	—	0 (0)	0.0% (0%)
23	大型トラック・バス 原動機噴射ポンプ不具合対策リコール (04年9月22日・1241)	5,160 ('94年11月8日~'96年7月19日)	4,854 (04年8月末現在)	—	—	0 (0)	0.0% (0%)
24	キャンター ナックルアームボールスタッド不具合対策リコール (04年9月22日・1242)	34,837 ('89年10月11日~'91年5月20日)	16,561 (04年8月末現在)	1,266 (1,266)	7.6% (7.6%)	0 (0)	0.0% (0%)
25	キャンター・ローザ ハイドロリックユニット不具合対策リコール (04年9月29日・1230)	3,283 ('99年3月24日~'00年2月17日)	3,148 (04年8月末現在)	—	—	2 (0)	0.1% (0%)
26	大型トラック 後々軸(非駆動軸)リヤばね外れ不具合対策リコール (04年9月29日・1237)	14,347 ('94年12月5日~'01年6月22日)	13,735 (04年8月末現在)	—	—	0 (0)	0.0% (0%)
27	大型トラック(6M70ターボエンジン)リヤエンジンマウント不具合対策リコール (04年9月29日・1238)	28,651 ('00年1月29日~'04年8月27日)	28,325 (04年8月末現在)	17 (0)	0.1% (0%)	0 (0)	0.0% (0%)
28	4M5型エンジン 噴射管クランプ不具合対策リコール (04年9月29日・1254)	75,596 ('98年9月25日~'04年8月18日)	73,980 (04年8月末現在)	—	—	0 (0)	0.0% (0%)
29	大型トラック 後前軸と後後軸間プロペシャフト不具合対策リコール (04年10月7日・1257)	15,925 ('91年9月27日~'02年10月31日)	14,333 (04年8月末現在)	3,487	24.3%	0	0.0%
30	キャンター、ローザ、ファイター 駐車ブレーキケーブル不具合対策リコール (04年10月7日・1258)	367,697 ('93年10月11日~'01年5月29日)	332,178 (04年8月末現在)	—	—	0	0.0%
31	大型 エアオーバー車 駐車制動用ブレーキチャンバー不具合対策リコール (04年10月7日・1259)	2,917 ('92年12月11日~'98年7月15日)	2,888 (04年8月末現在)	—	—	0	0.0%
32	大型 エアオーバー車 駐車制動用ブレーキウェッジ不具合対策リコール (04年10月7日・1260)	2,915 ('92年12月11日~'98年7月15日)	2,886 (04年8月末現在)	—	—	0	0.0%

・()内数値は、10月2日時点の数値を示す。

3. 47案件以外の届出項目の実施状況

No	市場措置アイテム (届出日・届出番号)	対象台数		実施状況			
		届出台数 (製作期間全体の範囲)	実在登録台数	暫定措置		恒久措置	
				実施台数	実施率(%)	実施台数	実施率(%)
1	大型バス リヤブレ - キホ - ス不具合対策リコール (04年6月15日・11110)	620 ('00年6月28日 ~ '02年3月7日)	607 (04年7月末現在)	—	—	529 (499)	87.1% (82.2%)
2	CNG車 レギュレータガス漏れ不具合対策リコール (04年8月4日・1195)	436 ('01年9月5日 ~ '04年2月17日)	1,078 (04年7月末現在)	—	—	436 (394)	40.4% (36.5%)
3	ファイター リヤ ブレーキホイールシリンダーサービスキャンペーン (04年9月10日)	182 ('02年3月8日 ~ '02年4月2日)	182 (04年7月末現在)	—	—	0 (0)	0.0% (0%)
4	大型トラック 4バッグ式空気ばね緩衝装置付車Vロッド不具合対策リコール (04年9月22日・1234)	4,454 ('03年5月16日 ~ '04年4月13日)	4,341 (04年8月末現在)	—	—	0 (0)	0.0% (0%)
5	大型トラック・バス エンジンハーネス不具合対策リコール (04年9月22日・1239)	21,427 ('98年7月2日 ~ '04年2月27日)	21,149 (04年8月末現在)	—	—	8 (0)	0.04% (0%)

・()内数値は、10月2日時点の数値を示す。

4. 緊急点検・無料点検の実施状況

緊急点検・無料点検 (04年7月1日開始)	緊急点検実施台数	無料点検実施台数
		237,955(230,060)

・()内数値は、10月2日時点の数値を示す。

6/14以降の事故案件について

:網掛け部が前回会見に対して追加・変更した箇所を示す。

2004.10.13

発生日時	場所	車両	スクランブル	事故内容及び調査概要	人身	47項目のリコール等 不具合内容との関連性	過去の該当リコール案件
6/14日11時	香川県坂出市 瀬戸中央自動車道	F K515J 87年12月登録	済	瀬戸中央自動車道走行中、左側壁に衝突し弾みで中央分離帯へ衝突、更に左側壁に衝突しながら200m走行して停止。 ・ステアリング系は引っかかり、渋りなく作動はスムーズであり、正常と判断。 ・ブレーキ系も作動テストにて異常なく、したがって、車両として正常であり、問題ないと推定。	ドライバー死亡 同乗者骨折	当社調査結果から関連性は認められません。	該当無し
6/15日20時	中央道 長野県座光寺PA	FU517TX 00年4月登録	済	中央自動車道下り走行中、松川C先下り坂でブレーキを使用したところ、ブレーキ警報ランプ点灯とブザーが吹鳴、テット軸左側の内側の部分から出火。 ・テット軸左側のみヘアリング廻りに錆有り、水浸入の痕跡有り。 ・他の車輪は全てきれいであり、水浸入の痕跡なし。 ・テット軸ヘアリング焼き付のリコールに該当する可能性有り。	なし	47案件 (No.10) に該当	電気系統のリコール対象 (00年8月対策済み)
6/18日2時	愛媛県伊予市	FU416U 90年5月登録	済	左前輪付近から出火、キャブ全焼。 ・フロント及びテット軸のブレーキ引きずりが発生。 ・エアマスター作動テストの結果、作動は正常。 ・ブレーキ液に鉱物油が混入しておりエアマスター内のバルブシートが膨潤しブレーキ液の戻りが悪くなり、残圧が発生し、引きずり状態になったと推定。鉱物油の混入の時期、状況等については特定できず。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	フロントハブリコール対象 (2002年7月Fハブ交換済) リアハブ04年5月24日車検時、亀裂点検済み(亀裂なし) リアハブは未交換。
6/18日4時	広島県安佐南区 山陽自動車道	(追突車) FU410TZ 95年7月登録	済	前車に衝突し、運転手社外投げ出され死亡。事故後衝突車は約2キロ 無人のまま走行し、横転して停車。 ・現車は追突の衝撃によりアクセルペダルが引っ掛かった状態のままとなったため、衝突後もそのまま走行したものと推定。 ・エンジンECUと電気回路は損傷なし。車両として正常であり、問題ないと推定。	ドライバー死亡	当社調査結果から関連性は認められません。	被追突車はフロントハブリコール対象 テット軸ヘアリング緊急点検対象 (2004年5月点検実施済)
6/21日4時	愛知県豊橋市	FP411D 94年9月登録	済	中央分離帯を乗り越え、対向車線を横切り、ガードレールを突き破り道路外の用水路に転落。 ・クラッチハウジングについても亀裂なく、プロペラシャフトも破損なし。 ・ハブ破損なく、問題なし。車両として正常であると推定。	ドライバー死亡	当社調査結果から関連性は認められません。	フロントハブリコール対象 (2003年2月Fハブ交換済) クラッチハウジングリコール対象
6/21日22時	佐賀県神埼町 長崎自動車道 東そのぎインター 手前バス停	FU410U 96年3月登録	済	ドライブ軸左内側、右内側から発火し、消防により消火。 ・フロントハブ異常なし。ドライブ軸ヘアリング正常。ブレーキのひきずりなく、ブレーキは正常。 ・左ドライブ軸の内側タイヤのスチールワイヤが露出し、タイヤバーストしたと思われる痕跡有り。 ・タイヤバーストによりウイング用オイル配管を破損させ、漏れたオイルに引火したものと推定。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	フロントハブリコール対象 (2003年5月Fハブ交換済)
6/23日22時	福岡県久留米市 宮の陣 九州自動車道	FU410TZ改 95年9月登録	済	走行中右後輪から出火、30分後に消火。 ・テット軸右側のアクターヘアリング焼き付き破損。目視では目立った錆は無し。 ・ブレーキラインが下側焼け大(後軸必ずれのため)、他のリア3輪とも、ロックナットに緩み有り。 ・後軸4輪のグリスの調査完了、ヘアリングは調査中。 ・不具合発生部位以外の3輪のグリスは、使用に適さない性状である。(除く後々軸左アクターヘアリング部) ・不具合部位のグリスは、熱や消火作業時の放水の影響を受けていると思われる判定困難。	なし	関連性については 精査中(警察調査結果待ち)	
6/23日10時	千葉県野田市 県道7号線	FE50EB 00年12月登録	済	前方車両が急停止したため、ブレーキを踏んだが止まらず、踏み直したが停車できず、追突。 ・制動力異常無し。ABS装置も診断結果エラー無く問題無し。 ・車両として正常であり問題無いと推定。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	ABSプログラム改善対策対象 (2002年3月措置済)
6/24日10時	和歌山県 阪和道 御坊～南部	FE435E 93年9月登録	済	走行中エンジン吹きが悪くなり、3km走行後非常駐車帯に停車して状況確認したところセルモーター付近の配線から発煙。若干焦げた程度。 ・エンジン左側7ロックより第4気筒目のコックアウト突き出し。 ・エンジンオイルの残量が異常に少なく、更に、エンジン周りに多量のオイル漏れが発生していることから、オイル不足からヘアリング焼け付き、コックアウト破損に至ったと思われる。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	該当無し
7/5日18時	群馬県藤岡市 関越自動車道 (藤岡JCT付近)	BE459F 95年8月登録	済	車体から白煙が見えたので停車。エンジンルームから炎が出ていたので、消火器で消火を試みるも全焼。 ・スターターは連続通電による内部過熱の形跡なし。キースイッチリコールとの関連性は少ない。 ・エンジンルーム内は全焼しているが、左側の焼損が激しい。ただし左側には樹脂類の可燃物が多く延焼したものか、火元かの判別は困難である。 ・燃料パイプ、噴射ポンプ噴射管に亀裂なく、これらからの燃料漏れの可能性はない。オルタネーターは県警が調査中。	なし	関連性については 精査中(警察調査結果待ち)	スターターキースイッチリコール対象 (2003年6月措置済)
7/7日14時	埼玉県加須市 東北自動車道下り 加須IC先約3km	FE437EV 90年8月登録	済	走行中、突然ホーンが鳴りっぱなし。ブレーキも効かず、キャブ下から煙。 車両を路側に停めるとキャブ炎上、消防車出動し消火するが、キャブ、エンジン、ボデー全焼。 ・エンジン左側7ロックより第4気筒目のコックアウト突き出し。エンジンオイル残量なし。 ・潤滑不良によるエンジン焼け付きと思われる。オイル管理状況についてはユーザーから警察および販社に整備記録を連絡。 (直近のオイル交換記録は04年5月20日)	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	該当無し

発生日時	場所	車両	スクランブル	事故内容及び調査概要	人身	47項目のリコール等 不具合内容との関連性	過去の該当リコール案件
7/14日20時	山口県 中国自動車道 美弥インター付近	FV415JR 93年5月登録	済	プロペラシャフトが脱落。後続車が脱落したプロペラシャフトにタイヤを擦ったが、事故にならず。 ・クラッチハウジング、トランスミッションケースに亀裂はなし。 ・フアンヨークのボルト穴部から破断している。プロペラシャフト材質に異常はないが破断面の様相からは破損モードは特定不可能。ユニバーサルジョイントのスパイダーに交換歴あり。フアン破損部の状況からスパイダー交換時のベアリングカップボルトの締め付け不足による弛み、破損の可能性が考えられる。整備状況を調査中。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	フロントハブリコール対象 クラッチハウジングリコール対象
7/18日16時	長崎県嬉野町 長崎自動車道下り 嬉野IC付近	BE632G 98年11月登録	済	走行中、エンジン付近から発煙、路肩に停車した。このあと出火し、エンジンルーム内が焼損している。 ・エンジンルーム内の上部が焼損、エンジンオイル洩れが激しい。 ・形跡から見て古くからの洩れ。ロッカーシャフトが折損。 ・科捜研が7/27車体から降ろしたエンジンを再見分した。 ・ロッカーシャフトの締め付けボルト1本が折損。これによりロッカーシャフトが折損。カムフレーム取り付けボルトのトルク低下、ロッカーカムとボルト干渉の順でカムフレーム周りに隙間ができオイル漏れが発生し、排気マニホールドに付着、発火したものと推定。	なし	関連性不明	スターターキースイッチリコール対象 (2002年4月 措置済)
7/21日9時	北海道登別市 豊浦町 国道36号線	FP415DR 90年4月登録	済	走行中、異音とキャブバック付近から煙が上がった。トレーに積載の古紙に延焼し、全焼。 ・クラッチハウジング、トランスミッションケースに亀裂はなし。 ・焼損はキャブ後部のみでエンジンは燃えていない。エンジン後部ターボチャージャー出口吸気パイプが溶損。 ・当該部付近に配策されているゴム製燃料ホース(定期交換部品)が焼損紛失していることから、何らかの原因で、ホースから洩れた燃料がターボチャージャーの熱で着火、延焼したものと推定。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	フロントハブリコール対象 (2004年6月 措置済) クラッチハウジングリコール対象 (2004年6月 措置済)
7/25日9時	鳥根県安来市 山陰自動車道 安来IC付近	MS821P 94年6月登録	済	走行中、左後輪タイヤ付近から発火。内側タイヤの車内側面が焼損している。 ・ブレーキが引きずった形跡あり。タイヤが焼損、ハーストしている。	なし	関連性不明	フロントハブリコール対象 (2004年7月 措置済)
7/28日4時	福岡県北九州市 都市高速4号線 紫川IC付近	FV514H 98年2月登録	済	トランスミッションとデフ間のプロペラシャフトがデフ側で破損し脱落。 ・インタデフのコンパニオンフランチ締付けネジの根元破断し、プロペラシャフト脱落したと推定。 ・ネジの根元部の破損は谷部全周を起点とした疲労破壊。 ・デフ側破損部のコンパニオンフランチのスプラインに生じたカガによりシャフトねじ切上り部に挟じり過負荷がかかり折損に至ったと推定。	2名通院(8/下) 1人は首、肩の痛み。1人は腰痛、打撲で2名とも外傷無し。	47案件 (No.24) に該当	キャブ電源ハーネスリコール対象 (2000年8月 措置済)
7/29日5時	福島県会津坂下町 磐越自動車道 上り	FV411T 94年3月登録	済	トランスミッションとデフ間のプロペラシャフト3本が脱落。 ・フライホイールハウジングが亀裂。クラッチハウジングを結合する取り付けボルト6本が脱落、6本緩みあり。 ・クラッチハウジングとの接合面に採まれ跡があり、ボルトの弛みによる破損と推定。 ・ボルト締め付け力の不足の原因としては、クラッチディスク交換時等のボルト締め付け不十分が考えられる。	なし	関連性不明	フロントハブリコール対象 (2004年5月 措置済) クラッチハウジングリコール対象
7/29日18時	大阪府東大阪市 市道	MS821P 94年5月登録	済	走行中、右後輪付近から発煙、発火。乗客が消火器で消火。内側タイヤが焼損。 ・現車を調査した結果、タイヤがハースト、焼損しており、後輪ブレーキが引きずった形跡がある。 ・但し、再現試験でもブレーキ引きずりは再現せず、戻りも良好。チャンバも異常なし。	なし	関連性不明	フロントハブリコール対象 (2004年6月 措置済)
7/31日朝	秋田県横手市	FV511TZ 98年3月登録	済	タンデム間プロペラシャフトが脱落。車両横転し、ドライバが怪我をして病院に搬送。 ・積荷は産業廃棄物で36%過積載、高荷状態であり、旋回時ロールし易く、車速超過による操作ミスで横転と推定。 ・横転による2次不具合として、プロペラシャフトが損傷したものと推定。第一報ではプロペラシャフト脱落との情報であったが脱落していないことを調査時確認した。 ・警察は人身事故扱いとせず、ドライバは病院で検査をおこなったが、通院はなし。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	キャブ電源ハーネスリコール対象 (2000年9月 措置済)
7/31日14時	大分県中津市	FS419TZ 94年3月登録	済	走行中にエンジンが急に噴き上がり、路肩に停車させ、キャブフィルと、噴射ポンプのアクセルワイヤを引くもエンジン停止せず。その間マフラー過熱し、マフラー廻りから出火しタイヤ、バッテリー、タンクなどを焼損。 ・噴射ポンプの分解調査実施。コントロールラックがカムナ側1気筒目の溝部底を起点として疲労破壊している。 ・コントロールラックの折損により噴射ポンプが制御不能となりエンジンが吹き上がったものと推定。	なし	47案件 (No.32) に該当	フロントハブリコール対象 (2004年6月 暫定点検済み) タンデムプロペラシャフトリコール対象 リアプロペラシャフトリコール対象 (プロペラシャフトはいずれも未実施)
8/1日19時	富山県入善町 国道8号線	FU510UZ 99年9月登録	済	走行中、異音が出たため路肩に停車したところ左前輪から出火していた。その後運転席部分などを焼いて鎮火。 ・左前輪アタリリングが破損し、ブレーキひきずり発火したものと推定。 ・フロントハブベアリングおよび関連部品を調査中。	なし	関連性については 精査中(警察調査結果待ち)	キャブ電源ハーネスリコール対象 (2000年8月 措置済)
8/8日20時	鳥根県松江市 国道9号線	MS821P 94年6月登録	済	7月25日タイヤ焼損した車両に対し、ブレーキ関連部品を新品に交換した。しかし再度左後輪がひきずり発煙した。 ・現車の左後輪にラインク焼付を確認した。定置では今回もブレーキひきずりを再現できず。チャンバも異常なし。 ・新品部品に交換したが再発したため、車両引取り、7/29発生の大阪の車両とともに実車再現試験を実施。 ・1台(大阪)の車両で走行時ブレーキの引きずりを再現。ブレーキのエアラインに残圧が発生。もう1台(松江)の車両は、実走行では再現せず。ただし、2台とも定置でブレーキ配管系を加熱すると残圧が発生することを確認。 ・原因はブレーキ系エアラインのバルブ排気不良と推定。バルブ構成部品の詳細調査を継続。	なし	関連性不明	フロントハブリコール対象 (2004年7月 措置済)
8/11日14時	長崎県佐世保市 西九州道 大塔IC出口市道	FP445D 94年9月登録	済	車両全焼。トレー一部焼損。詳細は不明。 ・キャブ後部の焼損が激しく、原因については県警捜査中。	なし	関連性については 精査中(警察調査結果待ち)	フロントハブリコール対象 (2004年4月 措置済) クラッチハウジングリコール対象

発生日時	場所	車両	スクランブル	事故内容及び調査概要	人身	47項目のリコール等不具合内容との関連性	過去の該当リコール案件
8/26日3時	広島県東広島市山陽道下り西条IC手前	FU54JUJ 03年9月登録	済	後前軸(駆動軸)左内側タイヤの内側付近から出火。車載の消火器で消火。 駆動軸Vロッド上部のボールジョイント抜けが発生している。駆動軸が右へずれている。 ・後前軸(駆動軸)左側のショックアブソーバーの表面に亀裂あり、作動油が洩れてほとんど残っていない。 ・駆動軸のVロッドのボールジョイントが抜け出して、車軸の左右方向の拘束がなくなっている。 ショックアブソーバーの亀裂はブレーキドラム及びタイヤホイールと干渉したためと推定。	なし	リコール1234に該当(9月22日届出)	該当なし
9/9日16時	徳島県板野町高松道上り	FV415J 84年10月登録	済	フロアシャフトが外れて走行不能になった。2次的被害なし。クラッチハウジングに亀裂なし。トランスミッション・メインシャフトが折損、 <u>エクステンションハウジングが破断し脱落。ドレナフラグが脱落。</u> ・トランスミッション・エクステンションハウジング側のドレナフラグが脱落し、内部にオイルは残っていない。 ・オイル不足によりベアリング等に焼き付きが発生しキャパがロック状態となり、メインシャフト破断 エクステンションハウジング破断 フロアシャフト振られ、フロアシャフトのトランスミッション側ジョイント部破損 部品脱落に至ったものと推定。 ・事故現場付近の路面にはオイルの痕は見られなかったとのことなので、事故直前に抜けたのではなくもっと前からなかったと思われる。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	フロントハブリコール対象 クラッチハウジングリコール対象
9/10日18時	群馬県松井田町上信越道下り	FS510VZ 98年6月登録	済	走行中エンジン付近から異音発生。路肩に寄せたところインストして停車。その後出火し全焼。 ・エンジン左側7ロックより第4気筒目のコンロッドが飛び出し穴があいている。エンジンオイルの残量なし。破損し高温になったエンジン内部の金属片によりオイルが発火しエンジンロックにあいた穴から噴出、延焼したものと推定。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	シャシハーネスリコール対象(2000年9月 措置済) タンデムフロアシャフトリコール対象(2003年7月 措置済) リアフロアシャフトリコール対象(2003年9月 措置済) キャブ電源ハーネスリコール対象
9/11日14時	神奈川県川崎市国道409号線	FN622K 98年12月登録	済	4台(当該車両を含む)の玉突き事故。運転手がブレーキが効かなかったと証言。 ・ブレーキ系配管からのエア漏れ、ブレーキ液漏れなし。ブレーキ低圧警報リザーブ機能は正常。 制動力をテスターで計測したが検査基準には合格。 ・警察が捜査継続中。	あり 4台中2台(2名) 1名鞭打ちで 通院中 他1名は通院1回	関連性については 精査中(警察調査結果待ち)	キャブフック曲がり不具合リコール対象 キャブチャイルド警告灯不具合改善対策対象
9/14日3時	鳥根県益田市国道191号線	FU510UZ 97年7月登録	済	走行中異臭がして、しばらくすると灯火系が消えたため停車した。下車して確認したところ左側ヘッドライトとフロントハブナーの間の奥に炎が見えた。キャブ全焼。 ・最初に炎が確認された部位の近くで回収した配線にショート痕あり。配線を調査した結果、後付け配線である可能性が高いが、出火がショートによるものかの判定は困難。	なし	関連性不明	シャシハーネスリコール対象(2000年9月 措置済) キャブ電源ハーネスリコール対象
9/22日12時	静岡県岡部町国道1号線	FV419J 90年10月登録	済	走行中異音がし、バックミラーで落下物を確認。そのままブレーキが効かなくなり惰性で走行し上り傾斜の場所で停止。惰性で後退時に左後輪を縁石に当てて停車。 ・駐車ブレーキドラム、フロアシャフトが別々に脱落。クラッチハウジングが全周亀裂。右フレーム内側エアハイブ三本破損。 ・フロアシャフト前側ユニバーサルジョイントのフランジホールのリテーナホルトが疲労破壊していることからホルトが折損、その結果スライダー部に偏芯が発生しフロアシャフトの振れが増大しクラッチハウジングが疲労破壊したと推定。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	フロントハブリコール対象(2004年5月 措置済) クラッチハウジングリコール対象(2004年7月 措置済)
9/23日6時	兵庫県西宮市市道	FP415D 94年1月登録	済	走行中エンジン付近から煙が出たので車両を止めて避難した。その後車両は全焼。 駐車場でエンジンを始動させた時に異音に気付いたがそのまま出発し約100m走行した所で発煙。 ・車両右前方のキャブ下側のハーネス付近の焼損が激しく出火場所と考えられるが、ハーネスにショート痕なし。 ・警察が捜査継続中。	なし	関連性不明	フロントハブリコール対象 クラッチハウジングリコール対象(2004年8月 措置済)
9/27日18時	和歌山県和歌山市駐車場内	FE507B 95年11月登録	済 10/4日	駐車場に車両を停車後、異臭がしたので確認するとエンジン下部から火が出ていた。 ・スター内部が破損。連続通電による過熱でスター回りの一部が燃えたと推定。 ・キースイッチの作動は問題なし。配線状況も干渉なく問題なし。スターは回収し調査予定。	なし	関連性不明	スターキースイッチリコール対象(2002年11月 措置済) キャブハーネス、ワイパーリンク干渉リコール対象
10/1日4時	愛知県岡崎市国道1号線	FU510UZ 99年10月登録	済 10/4日	走行中異臭がした後、サイドコントロールボックス付近から煙がでた。キャブ全焼。 ・センターコントロールボックスのスイッチの一部が改造された形跡がある。その配線はねじり接続されており、一部に弛みあり。 この部分で発熱、発火したと推定する。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	シャシハーネスリコール対象(2000年8月 措置済) キャブ電源ハーネスリコール対象 リヤリフスプリングのハンガーブラケットからの脱落リコール対象
10/6日6時	大阪市北区国道2号線	MP717K 98年10月登録	済 10/7日	走行中車両前方に乗用車が進入してきたため急ブレーキをかけたところ、そのはずみで車両右側後方の非常口横のシートが前に倒れた。倒れたシートに着席していた乗客とその後ろの席の乗客が負傷した。 大阪府警が車両保管中であり破損部位の詳細状況は確認できず。	あり 1名打撲 通院加療5日 他1名はそのまま帰宅	47案件 (No.47) に該当 リコール1229(9月22日届出)	燃料タンクリコール対象(2000年9月 措置済) 非常口扉ストリッカー対象

急ブレーキ時の非常扉横シート倒れ不具合情報

リコール番号 R 1 2 2 9 0 4 . 9 . 2 2 届出

1 - 1 . 不具合事例について

急ブレーキ時の「非常扉横シート倒れ」不具合情報については、今回の「社内調査」の再精査を行い、3件の不具合事例が判明しました。3件の内1件が本リコールに関連します。よって今回リコール届出に伴う情報と今回調査再精査の結果を併せて、計20件の不具合事例に至ります。なお、20件の不具合事例の内15件が本リコールに関連する人身事故で、残り5件の内3件は苦情のみ、2件はシート倒れは無かったものの急ブレーキによる乗客の負傷と認められます。以下詳細を記載いたします。

(内数字はシート倒れによる人身事故件数を示す)

		不具合事例	人身事故内訳		
			9/22 届出	届出後情報	社内調査
9月22日	リコール届出(No1~7)	7			
10月7日	リコール届出の訂正(No.8,9)	2			同左
10月7日	10月6日(大阪)事故情報(No10)	1			
10月8日	社内調査(リリースにて発表済) (No11)	1		同右	
10月8日	社内調査(記者会見にて発表) (No12~17)	6		同右	
10月13日	社内調査(再精査)(No18~20)	3			
	計	20			

1 - 2 . 社内調査

a . 調査方法

リコール届出時の商連書(7件)以外で、販売会社が把握している事故事例を調査致しました。

- ・販売会社数 36社
- ・調査期間 04年10月2日(土)~5日(火)

b . 調査結果

- ・回答数 39件
 - ・不具合情報 12件
 - 内非常口座席リコールに係る人身事故もの (9件)
 - ・不具合無し 27件

2 . 今後の取り組み

対策について：現在2,847台(約10%)リコール作業が完了しており、

11月末までの作業完了を目標に全力を挙げ取り組みます。

以上

リコール番号R1229 急ブレーキ時の非常扉シート倒れ不具合情報

網掛けは本リコールにかかわる人身事故

2004.10.13

No.	車台型式	通称名	登録年月日	扉連動 ストッパ-	不具合状況				処置		
					発生日	走行距離km	発生場所	事故状況	負傷者状況	台数	内容
1	MS815S	ふそうエアロバス 大型観光	1993/6/10	無	1993/11/22	43,023	大分県	営業走行中、最後部席の乗客が、急ブレーキ時、前席の非常口横転倒式座席背当て部のグリップで踏ん張ると(座席が前に)転倒すると苦情。	なし	(1)	当該車両に関する改修指示はなし。 2004年10月2日、販社が確認の結果、当該車にストッパ装着されていることを確認。 装着経緯については、調査するも記録が現存せず不明。
2	MP717M	ふそうエアロスター 大型路線	2001/3/14	無	2001/7/31	47,625	名古屋市内	営業走行中、非常口横転倒式座席の後(最後部席)に着座中、ブレーキ時に体が前方へ移動、その時、前席に手を掛けたら当該座席が前方へ倒れた。	なし	0	当該車両に関する改修指示はなし。 通常運行では問題無きため、当該車両については特に対策実施せず。
3	MS829P	ふそうエアロバス 大型観光	1999/9/20	無 (後に装着)	2001/11/1	195,000	愛媛県内 (営業運転後の苦情により不明)	強いブレーキ時、最後部席の乗客が反動で非常口横の座席によりかかったところ、座席脚のロックが外れ持ち上がり、当該座席にすわっていた乗客が負傷(鞭打ち)した。営業運転後に苦情あり。	商連書では「ムチウチ」と記載されているが診断書等の報告はなし。ユーザーに確認したところ、被害者は医療機関にかかっていない。(ユーザーは被害者に対し菓子折りを持参しお詫びしている。)	23	2002年2月頃、ユーザ要望により販社に図面送付。 部品は販社が製作し、ユーザーにて改修作業実施。費用はMFTBC負担。 < 部品手配個数および発送月 > 2002年3月 : 16個 2002年4月 : 2個 2002年5月 : 4個 2002年6月 : 4個 大型観光バス全26台
4	MP747K	ふそうエアロスター 大型路線	1997/11/25	無 (後に装着)	2001/11/20 16:43	202,723	兵庫県伊丹市西町の交差点	衝突事故発生時の急ブレーキの為、最後部席の乗客が前方の非常口横の座席にぶつかり当該座席が前へ転倒。乗客2名が座席間に挟まれ怪我をした。	31歳の女性:非常口横シート着席者 頸椎捻挫、左肩間接打撲・腰部打撲で10日間の加療 週3～4日通院加療 76歳男性:非常口横シート着席者の可能性あるが不明 左前腕擦過傷で5日間の加療12/5をもって示談解決 その他に同事故で4名の負傷者があった。	4 他1	ユーザー要望により販社に図面送付。 部品および取り付け工事とも、販社が実施し、費用はMFTBCが負担。 2001年11月 : 2台 大型路線 2004年8月 : 2台 大型観光 中型路線バス1台はストッパ無し リコール対応する。
5	MP35JM	ふそうエアロスター 大型路線	2001/12/6	付	2001/12/25	6,011	横浜市内	非常扉と座席のセット手順を間違えたため、営業運転中のブレーキ時に非常口横の座席が起き上がり乗客が怪我。(正規は非常扉を閉める前に座席をセットしなければいけないが手順が逆となったため、ストッパが機能しなかった)	ユーザーは人身事故の扱いはないとのこと。商連書記載の「怪我」はユーザー担当者から聞き取りしたもので状況は未確認です。	0	当該車両の処置に関する指示はなし。 ユーザーに正規の手順を説明しユーザーの了承を得、特に対策実施せず。

No.	車台型式	通称名	登録年月日	扉連動 ストッパー	不具合状況				処置		
					発生日	走行距離km	発生場所	事故状況	負傷者状況	台数	内容
6	MP717K	ふそうエアロスター大型路線	1997/9/29	付	2002/7/27 19:50頃	175,500	大阪市城東区関目のT字路	営業運転中、信号無視の自転車を避けるため35km/hより急ブレーキをかけたところ、非常口横の座席が前傾し、最後部右側座席の乗客が左胸と左足を打撲する事故が発生した。	45歳の女性：左胸と左足を打撲 治療日数10日	30	ユーザ要望により1台はMFBMサービスマンがユーザー車庫にて改修実施。残りの車両は、非常口部に補強板を追加するとともに、剛性アップしたストッパーに交換を実施。(全30台) 部品はMFBMが製作し、改修は販社が実施。費用は共にMFTBCが負担。 2002年12月9日 : 1台 2002年12月12～16日 : 16台 2003年2月17～18日 : 13台 大型路線全30台
7	MP717K (改造車両)	ふそうエアロスター大型路線	1997/2/21	付	2002/9/16 21:17頃	175,600	大阪市比花区島屋の交差点	営業運転中、ユニバーサルスタジオバス停を出て南方へ約100m走行し交差点へ青信号で約40km/hで直進したところ対向車がウインカーを出さずに右折したため、衝突を避けようと急ブレーキをかけたところ、最後部右側座席の乗客が非常口横の座席の背もたれに両手をついたため、席が前傾し、打撲し衣服が破れる事故が発生した。	22歳の女性：ひざを打撲し服が破れた 治療日数0日 物損のみで負傷事故にはならなかった。(被害者了解)	0	当該車両に関する改修指示はなし。当該座席は改造メーカーによる改造車両のため、特に対策実施せず。
8	MP747M	ふそうエアロスター大型路線	1997/3/13	無	2000/3/15	149,000	旭川市大町3条6丁目交差点	バス停を発車し100m位前進した地点で、一時停止の左側から軽乗用車(運転手未成年)が飛び出してきたため、衝突の瞬間と同時にブレーキを踏んだ。その際、非常口部座席が跳ね上がった。尚、詳細情報を得る為、警察署・検察庁・家庭裁判所を訪問したが正式な回答申請の必要があり中断	女性11名負傷、内4名については非常口部座席が跳ね上がり、当該座席に着座の乗客2名が対面座席の乗客2名とぶつかり負傷。(骨折1名 軽症10名) 負傷者年齢：72才 70才 68才 67才 65才 63才 58才 51才 26才 (不明2名)	39	当該車両に関する改修指示はなし。2000年7月頃、ユーザ要望により、販社が当該車を含む39台に非常扉連動ストッパーを装着。部品はMFBMが製作し、改修は販社が実施。費用は共にMFTBCが負担。
9	MS822P	ふそうエアロスター大型観光	1999/3 <調査中>	無	2002/11/9	199,211	熊本県玉名郡横島町(国道501号線より脇道へ入った所)	営業運行中、危険回避のための急ブレーキ時、最後座席の乗客が非常口部の座席の背もたれに掴まったところ、座席と共に前方へ倒れ負傷(打撲)を負った。	25才男性、頭部打撲 5日間の通院	0	当該車両に関する改修指示はなし。特に対策実施せず。
10	MP717K	ふそうエアロスター大型路線	1998/10	付	2004/10/6	205,282	大阪市北区曾根崎新地2丁目6番地	バス停から250m走行後(40Km/h)横から乗用車が飛び出し、当該車両が衝突を避けるため急停車した。	(当該座席)41歳女性：前部シートに顔を当て打撲、全治5日、通院加療 (後方座席窓側)51歳女性：不明	161	ユーザ要望により板厚増大等による構造強化を検討中。
11	MK117J	ふそうエアロスター従業員送迎	1990/4/16 <生産日>	無	2004/9/9 夕方 (午後6時前)	不明	青森県むつ市大湊宇田	大型バスとすれ違う際、バスの後方から飛び出して来た乗用車との衝突を避けるための急制動。事故後、非常口横座席は前傾していた。	・非常口横座席に座っていた女性2名は顔面を打撲で、軽症(通院は無し)。 ・車両中央部付近の補助席に着座していた女性1人が通路に転倒、軽傷(打撲)を負い、医者へ行った。 ・お客様から年齢は教えて頂けず。	2	ユーザが普段整備をしているモータースに指示し、2004/9/13～14にストッパーを追加した。なお、非常扉連動ストッパーはモータースが独自に製作。今回、リコール届出があったため、2004/9/24にモータースから販社に費用負担の要求があり、販社は了承。

2004.10.13

No.	車台型式	通称名	登録年月日	扉連動 ストップ-	不具合状況					処置	
					発生日	走行距離km	発生場所	事故状況	負傷者状況	台数	内容
12	MK219J	ふそう エアロミティ	1999/3 1999/2/10 <生産日>	付	2003/7/9	200,000	横浜市内	走行中、子供の飛び出しによって急ブレーキをかけた際、非常口座席の可倒式座席が、その後に座っていたお客様がもたれかかって前に倒れ、その方が通路の床に倒れて負傷した。	人身1名、64歳女性 腰椎捻挫、左臀部挫傷、右肘挫傷、左下腿挫傷により10日間の加療を要する見込みと診断された。	1	ユーザーが直接自社工場で改修
13	MP35JM	ふそうエアロミティ-大型路線	2001/7 2001/5/18 <生産日>	付	2004/4/19	145,000	横浜市内	横浜市内走行中交差点内で右折車と接触 非常口座席に着席していた1名がひざを打撲 但し、非常口座席は転倒しなかった。	10名が負傷全治10日前後と思われる。 当該座席の方は年齢・性別不明 非常口座席倒れ外の事故のため、詳細情報未入手	1	ユーザー側が処置、詳細不明
14	MK517J	ふそう エアロミティ	1992/3/6 <生産日>	無	2002/3/28	不明	大阪府 都島区	都島区で駐車中の車両が飛び出したため、急ブレーキをかけたところ、後席の乗客がパイプを握ろうとして、右手を打撲(座席転倒は不明)	1名が右手を打撲、他の座席に着席していた人も打撲、計2名	1	ユーザー側が処置、詳細不明
15	MK622J	ふそう エアロミティ	1997/10 1997/9/19 <生産日>	無	2002/10/20 16:00頃	217,000	宮崎県 日向市 平岩 国道10号線	当該車が軽トラックに追突事故を起こしシートが前に倒れ小学生一人がひざを打撲 販売情報入手はリコール届出後	小学5年の男児、ひざ打撲		特に無し
16	MS725S	ふそうエアロミティ大型観光	1987/3 1987/1/9 <生産日>	不明	2004/1/30	不明	北海道 愛別町	前方の車両が停止し、当該車も停止した(それ程急制動はないとのこと)。その際後の方がシートに手をかけてシートが前に倒れた 販売情報入手はリコール届出後(9/29)	7人負傷、内、非常口座席2名および後方座席1名の計3名(67歳女性、66歳女性、62歳女性)が打撲により4月まで通院。残り4名は軽い打撲で通院無し		不明
17	MK219J	ふそう エアロミティ	1999/1 1998/12/21 <生産日>	不明	2004/5/24	66,539	京都市内	京都市内を走行中急ブレーキ時に車内事故発生 4名が当該シートで負傷	入院2名、通院6名計8名 内4名が当該シートで負傷	1	2004/5/27 現状復元のみ
18	MS715S	ふそうエアロミティ大型観光	1987/2	無	2004/8/初	737,000	岩手県紫波 郡紫波町犬 淵国道4号	国道4号線を時速50kmで走行中、前方の乗用車が急停止したため、当該車両も急ブレーキ。その際非常口座席後方の乗客が前方の背もたれを手で強く押した為、非常口座席の乗客が前の座席で頭を打った	女性1名68歳、通院2週間。後方座席着座の人はケガ無	0	特に無し
19	MK219J	ふそう エアロミティ	1998/1	無	不明	不明	不明	児童生徒を乗せブレーキ作動時、当該席が前に倒れ頭を接触、ケガ無	頭を接触した程度で処置せず	0	ロック装置に曲りへこみあり、また、給脂類付着していた。 ロック部の給脂類付着により抜け易くなっていると推定し拭き取りを販売からユーザー整備工場に指示。 ユーザー要望から改修要望あり
20	MK117J	ふそう エアロミティ	1993/2/17	無	2002/4/27 正午頃	503,267	香川県 高松市県道 交差点	交差点を右折中、当該バスの非常口横に取付けられている座席の床面取付部が破損して座席が横転し、当該席の乗客が転倒し負傷 原因 床面取付金具(前側)の腐食などによる破損及び事故前日の12ヶ月点検でロック(後側)を掛け忘れの状況で走行したため、軽い旋回でシートが跳ね上がった。 本リコール案件から除外しております。	62才女性、左肩打撲	25	ユーザー要望により床面取付金具を交換併せて、ストップ追加についても要望があったため施行を実施(25台)